

# ちはやあかさか 議会だより

第 105 号

平成 25 年 8 月 1 日

発行 千早赤阪村議会

編集 議会広報編集委員会

〒585-8501

大阪府南河内郡

千早赤阪村大字水分 180 番地

TEL 0721 - 72 - 0081

FAX 0721 - 72 - 1880



おいしかったよ 流しそうめん(民生委員児童委員協議会の協力のもと、ごせ幼稚園で行いました。)

## — 主な内容 —

定例会議決結果	2
全員協議会報告	3
いっぱん質問	4~9
議会活動日誌	10
	ページ



楠木正成の  
イメージキャラ  
「まさしげくん」

(千早赤阪楠公史跡保存会提供)

## 6 月定例会のあらまし

平成 25 年第 2 回(6 月)千早赤阪村議会定例会は 6 月 5 日に開会し、平成 24 年度補正予算(最終)の専決処分や税条例の改正、平成 25 年度補正予算など計 15 議案が提案され、それぞれ承認・可決、委員会付託しました。6 月 18 日の最終日には、追加議案 2 件と委員会付託 7 件を可決し、一般質問をもって 14 日間の定例会を閉会しました。

「議会だより」は、年 4 回(5 月、8 月、11 月、2 月)の発行です。(臨時号を除く)

## 6 月定例会議決結果

案 件 名	議決結果
・ 報告第 2 号 平成 24 年度千早赤阪村一般会計予算繰越明許費繰越計算書について	原案承認 (全員)
・ 議案第 36 号 教育委員会委員の任命について	原案同意 (全員)
・ 議案第 37 号 専決処分 (千早赤阪村税条例の一部を改正する条例) の承認を求めることについて	原案承認 (全員)
・ 議案第 38 号 専決処分 [平成 24 年度千早赤阪村一般会計補正予算 (最終)] の承認を求めることについて	〃
・ 議案第 39 号 専決処分 [平成 24 年度千早赤阪村国民健康保険特別会計補正予算 (最終)] の承認を求めることについて	〃
・ 議案第 40 号 専決処分 [平成 24 年度千早赤阪村介護保険特別会計補正予算 (最終)] の承認を求めることについて	〃
・ 議案第 41 号 専決処分 [平成 24 年度千早赤阪村後期高齢者医療特別会計補正予算 (最終)] の承認を求めることについて	〃
・ 議案第 42 号 専決処分 [平成 24 年度千早赤阪村下水道事業特別会計補正予算 (最終)] の承認を求めることについて	〃
・ 議案第 43 号 千早赤阪村暴力団排除条例制定について	原案可決 (全員)
・ 議案第 44 号 千早赤阪村附属機関に関する条例の改正について	〃
・ 議案第 45 号 千早赤阪村税条例の改正について	〃
・ 議案第 46 号 千早赤阪村国民健康保険条例の改正について	〃
・ 議案第 47 号 平成 25 年度千早赤阪村一般会計補正予算 (第 1 号) について	〃
・ 議案第 48 号 平成 25 年度千早赤阪村国民健康保険特別会計補正予算 (第 1 号) について	〃
・ 議案第 49 号 平成 25 年度千早赤阪村水道事業会計補正予算 (第 1 号) について	〃
・ 議案第 50 号 工事請負契約の締結について	〃
・ 議案第 51 号 平成 25 年度千早赤阪村一般会計補正予算 (第 2 号) について	〃
・ 議案第 52 号 村長の専決事項の指定について	〃

### 主な案件の内容

#### 議案 38 号～議案 42 号

#### 専決処分の承認を求めることについて

平成 24 年度の予算について、村税や地方交付税、国庫補助金などの歳入や、歳出が確定したことにより、村長が専決処分とした最終補正について、議会の承認を求めるもの。

#### 議案 50 号

#### 工事請負契約の締結について

千早小吹台小学校屋内運動場耐震補強等工事契約について、議会の議決を求めるもの。

#### 専決処分とは

条例や予算などは議会が議決しなければなりません  
が、時間的に議会の開会を待てない緊急の場合もあり、  
村長は議会に代わって決定することをいいます。  
ただし次の議会で承認を得なければなりません。

# 全員協議会報告

6月11日開催

## 海洋センターのプール管理について

8月からの海洋センターのプール管理を委託する業者が委託料が低いため、決まっていな  
い。追加議案として補正予算を  
お願いしたいと行政から、報告  
がありました。

議員からは、業者とは契約が  
できるのか、近隣の管理の状  
況、監視業務の範囲、利用料、  
利用者の状況を質問、それぞれ  
に答弁がありました。また、今  
年度は、監視員を1名増やし5  
名で対応したいと報告があり、  
議員からは事故のないように指  
導を徹底されたいとの意見が出  
ました。

## 議員からの質問

### 小吹台入口（富田林側） のビニールシートの管理

小吹台入口（富田林側）のビ  
ニールシートについて、1年前  
にも申し入れた。その後どうな

ったのかの質問に対して、「これ  
まで警察を通じて富田林土木事  
務所に話をしているので、行政  
として何かいい方法はないか、  
警察とも相談したい」と行政側  
から答弁がありました。

## 新人職員の教育・研修を

若い新人職員に期待をしてい  
る。新しい職員への研修や教育  
はどうしているのか。

「新人の研修は、3年前から東  
大阪から南の中部ブロックでや  
っている。4月に5日間、下旬  
に府下町村の新人研修をしてい  
る」と答弁がありました。



(金剛登山研修)

## フォレストの活用を

森林組合が運営するフォレス  
タが再開されている。以前は軽  
食はダメとされていたが、大阪  
府の指導で再開することになっ  
たのか。

「どういう経過で再開されたの  
か把握していない」と答弁があ  
りました。

## 議会を傍聴してみませんか

次回の定例会は、下記の日程で開催の予定です。

### 第3回（9月）定例会の日程（予定）

月日	会議の内容	
9月 4日 (水)	本会議 (初日)	議案上程、審議
9月 5日 (木)	本会議 (2日目)	決算審議
9月 19日 (木)	本会議 (3日目)	追加議案上程、審議
9月 20日 (金)	本会議 (最終日)	一般質問

※開会時間は、いずれも午前 10 時です。このほ  
か、各委員会等も開かれます。日程は都合に  
より変更となる場合がありますので、傍聴さ  
れる方は事前に議会事務局へお問い合わせく  
ださい。(TEL 0721-72-0081)



## 議会改革委員会より 議案審議を委員会付託に

6月定例会から、議案の審議方法を本  
会議での審議から、常任委員会に付託して  
審議する方法に変更しました。

現在、常任委員会には、総務民生常任委  
員会と文教建設常任委員会があります。

それぞれ所管の分野について、委員会付  
託することにより、今までよりも、より専  
門的に審議できるようになります。

## 議会だよりを刷新

議会改革により議員定数が 7 名になり、  
今号より一般質問のページは議員一人につ  
き、これまでの半ページから 1 ページにし  
ました。

一般質問のページは質問した議員が責任  
をもって原稿を作成し写真撮影を行い、レ  
イアウトまで担当しました。

# いっぱん質問



6月定例会では、6人の議員が一般質問を行いました。内容・レイアウトは、質問した議員の責任で作成したものです。



徳丸 幸夫 議員

**問** 平成23年に出した水道事業基本計画では、岩井谷の取水量は今後は期待できないので、岩井谷からの取水は減らすとなっている。取水施設全体も老朽化している。

この間でどこまで整備できたのか。岩井谷からの自己水は、24年度では約66%、企業団からが約34%の実績となっている。岩井谷からの計画取水量を減少させ、企業団からの取水を増やす場合の受け入れ設備の整備を

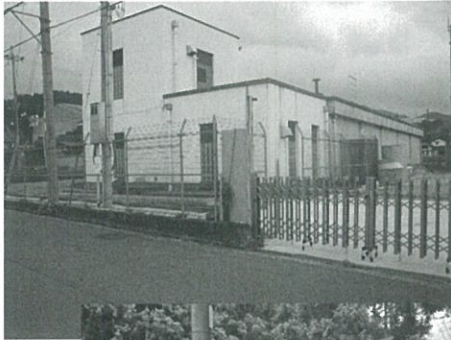
どうするのか。

**答** 企業団に、安定供給のためのループ化を要望してきた。3月に1市町村2系統の基本ルートが示された。今後ループ化に向けて、基本計画の見直しを行い、整備を進めたい。

岩井谷の取水施設は次亜塩素酸に切りかえるタンクを設置している所である。監視システムについては現在、見積もりをとっている。

## 問 上水道施設の整備を急げ

### 答 ループ化で安定した水の供給をめざす



(川野辺受水場)



(岩井谷取水施設)

## 問 健康診査の受診率を高めるために

### 答 引き続き受診率向上に努めたい

**問** 特定検診の仕組みに変わって、数年が経過した。特定検診の受診率は、33・1%で、けっして高くはない。大阪府は60%を目標にすることを指導しているが、受診率を高めるためにどうするのか。

**答** 村の受診率は、府下平均より上回っているが、未受診者へのハガキによる勧奨を行っている。今後、電話等による勧奨を行うとともに、医師会への協力をお願いし、向上に努めたい。

## 問 森屋オレンジヒルへのちびっこ広場と集会所の設置を

### 答 当面は代替え施設利用を

**問** オレンジヒルができから、8年になる。当初の計画では、ちびっこ広場も集会所も設置するということになっていると聞いている。

村と開発業者との間には、開発に関する協議書があるが、ちびっこ広場と集会所はどうなっているのか、今日に至るまでなぜ設置されていないのか、その理由と今後の方針は。

**答** 指摘の施設について開発協議の中の協議項目であるが、場所などの十分な条件が満たされず、

設置されていない。ちびっこ広場は森屋地区のちびっこ広場の利用、集会所は自休村センターを利用していただきたい。





浅野利夫議員

## 問 オレンジヒル地区の防火対策は

### 答 消防設備や消防水利の確保に努める

問 5月10日の夕方、森屋西上地区で火災が発生した。雨の中、消防団員や富田林市消防本部の懸命な消火活動により、延焼は免れたが、肝心の消火栓からの水圧が低く消火に手間取った。

水圧の問題は以前から懸念されていたことでもあり、オレンジヒル内の住宅密集地ではもつと大きな火災になると想定される。

今回は消火栓およびポンプ車と宮池からのポンプアップによる消火活動であったが、今後の対策として、村民の生命と財産を守るためにも、オレンジヒル地区の防火対策の根本的な解決策を伺う。

答 今回の火災については、村消防団員・富田林市消防本部千早赤阪分署・太子分署・金剛分署より消防タンク車やポンプ車・レスキュー車などが出動し、消火にあたった。



(オレンジヒル)

## 問 村の人口増加対策は

### 答 定住促進のための施策の充実・強化を図る

問 大阪府は昨年3月「人口減少社会白書」を発行した。副題として「大阪の人口動態の変化における社会的対応」を掲げている。

大阪府の中でも南河内地域は人口減少率が高く、都心回帰の動きでさらに減少傾向にある。白書の中身と村の係わりはどうなっているのか。また村としての人口減少対策は。

答 白書で南河内地域は、30年後の人口減少率が府内5地域の中で最も高くなると見込まれている。白書でまとめられて

いる人口減少社会の影響と課題では、高齢者の生活不安の高まりや、医療費の増大などの課題が挙げられているが、本村においても同様である。

## 問 役場庁舎の建て替えは

### 答 早急に基本構想（案）を作成する

問 昨年の村長選挙から1年が経過した。「山中八策」の中で「役場機能の集約と地元産の木材を活かした施設整備を行う」となっているが、庁舎の建設場所や建設時期は。

答 役場庁舎のあり方については、結論がでない。早急に基本構想（案）を作成し、方向性を示したい。



**問 共同事務処理の推進を**

**答 今後も積極的に取り組んでいく**



清井 浩 議員



南河内府民センターの2階に設置された広域事務室

平成21年に市町村が住民に身近なサービスができるように、大阪府から市町村へ特例市並みの権限移譲を進められることになった。これを受けて、南河内3市2町1村は平成24年1月から共同で事務処理を開始し、1年半が経過した。これまでの経過から、以下についてお聞きする。

問 これまでに実施された共同処理の実績と、その効果についてどう評価しているのか。

答 共同処理の実績として、開発行為の認可など、まちづくり分野で25事務、身体障害者手帳の交付など福祉分野で8事務、大気汚染防止法に係る規制事務など公害規制分野で7事務を処理している。

共同処理の効果として、職員を共同設置したことによるスケールメリットや、事務処理に必要な機器類の共同購入による経費の効率化、大阪府での処理に比べ時間短縮が可能になるなど、効果は十分発揮されている。

問 今後の実施予定として、

どのような事務が検討されているのか。

答 25年度からは、まちづくり分野で4事務、福祉分野で6事務を追加した。

大阪版地方分権推進制度の第二段階では中核市並みの権限移譲がおこなわれることになっており、府の動向を注視しながら具体的な事務の検討を進める。

問 25年度から、3市2町1村の独自事業として図書館など施設の相互利用や、物品の共同購入などが開始されたが、今後どのような事業が検討されているのか。

答 26年度以降の実施予定として、「休日歯科診療所の広域化」など11事務について検討を進める。

また、南河内地域の人口減少対策に寄与する事業や、各自治体が抱える課題、例えば電算経費の削減、公共施設の整理などについて、中長期的な視点で取り組んでいく。

大阪府下の特例市と中核市  
**特例市**（人口20万人以上の市）  
 吹田市、茨木市、八尾市などの6市  
**中核市**（人口30万人以上の市）  
 高槻市、豊中市、東大阪市の3市

南河内3市2町1村の合計人口は約32万4000人で、中核市並みの人口規模である。

大阪府下で共同事務処理を行っている他団体  
 豊能地域 池田市、箕面市、豊能町、能勢町  
 泉南地域 岸和田市、泉大津市、貝塚市、和泉市、高石市、忠岡町

6市町村の比較 (H23年度 決算統計)

	人口(千人)	面積(k㎡)	財政規模	職員数(人)
富田林市	118	39.66	22,401	898
河内長野市	113	109.61	21,173	658
大阪狭山市	57	11.86	11,541	418
太子町	14	14.17	3,140	114
河南町	16	25.26	3,842	163
千早赤阪村	6	37.38	1,926	77
合計	324	237.94		2,328

人口:住基人口 財政規模:標準財政規模(百万円) 職員数:全部門



関口ほづみ議員

## 問 人口減少への対策を

## 答 村の特性や地域性などを踏まえ 実施していく

**問** 人口減少は、全国的なものであり、国が積極的に進めるべきだ。

日本共産党は、人口減少対策として、子育て支援策や2世帯住宅への増改築補助、空き家住宅の紹介などを一貫して提案してきた。子育て施策は一定前進したが、人口減少に歯止めをかけるには至っていない。空き家住宅の情報発信と入居者への補助制度を設け、対策を急ぐべきだ。

**答** 人口減少対策は第4次総合計画でも最重点目標として位置づけ、将来人口を「6000人を維持すること」としている。今年度と来年度の2カ年かけて調査・研究し、まとめる。

**問** 人口減少対策は待ったなしだ。私が提案してきた空き家バンク制度が、河内長野市で創設され、先を越された思いだ。村として、情報を発信すべきだ。



(子育て世代の入居)

**答** 「住みたいむらプロジェクト」で、具体的な提案をできるようにしたい。

**要望** 私の調査で、村は人口減少であるが、小吹台では、子育て世代の同居が25軒、私たちの二世帯が別所帯を持つているのが34軒、若者転入が20軒あり、若干増えている。自然環境がよく、小学校・保育園、診療所、郵便局があり子育て環境が整っているからだ。空き家住宅の情報を発信し、若者世代を呼び込むべきだ。

## 問 国保料の引き下げは可能です

## 答 医療費増の傾向で引き下げは実施しない

**問** 国保料の引き下げを求める声は大きい。「国保料の引き下げを求める会」が実施した、引き下げを求める署名は、1160名となり、国保加入者の半数にあたる数になった。昨年、村長に署名を添えて引き下げを求め、村長は「国保加入者の半数にあたるもので重く受け止める」と回答した。しかし、今年度予算は引き下げる内容ではなかった。そのため日本共産党議員団は、引き下げの修正案を提案したが、これも議会で否決された。

**答** 積立金は1億6600万円あり、引き下げる条件はある。村国保運営は規模が小さく、高齢者率も高く不安定要素が多い。安定的な財政運営を行うため、基金を設置し、保険料引き上げを極力抑えてきた。

**問** 不安定だと言いつつ、毎年、基金を増やしてきた。

**答** 一人1万円引き下げると、一人1万円引き下げるためには2000万円あれば引き下げは可能だ。積立金の一部を活用することで、引き下げはできる。引き下げない理由は何か明らかにすべきだ。

**問** 昨年12月の国保運営協議会で「医療費が伸びる傾向にあることや、27年の共同事業の制度改正の影響を見て行うべきだ」との意見であり、引き下げは実施しない。

**要望** 「規模が小さい・不安定」という状況ではない。一般会計からの法定外繰り入れをしていないのは、千早赤阪村を含め、8自治体だけだ。繰り入れをやらずに、基金残高が増えているのは、保険料の取り過ぎだ。今後、国保が広域化になれば、基金は吸収される。取り過ぎた保険料は引き下げて返すべきだ。

問

## 千早小吹台小学校体育館の耐震化工事について



田中博治議員

答

## 児童が安全に学校生活を送るために重要

**問** 赤阪小学校の耐震化工事に引き続いて、村立中学校の体育館と本校舎も耐震化された。

いよいよ千早小吹台小学校も本年度は体育館の耐震化工事が決定、工事概要について伺う。

**答** 学校施設は、児童が一日の大半を過ごす学習、生活の場であり、地域住民のコミュニティ活動の拠点として、また、災害時の応急避難場所としても重要な役割を担つ

ており、その安全性の確保は極めて重要である。工事期間については、平成25年6月から11月末日まで工期となっており、コンクリート屋根から鋼板屋根への付け替え、床板の張り替えや放送設備、トイレの改修を行う。安全対策は常に警備員を常時2人を配置する。体育館工事後のIS値は0・76に向上し、文科省の定める0・7以上を満たすことになる。



問

## 防災行政無線の本格的運用について

答

## Jアラートは国の情報をできるだけ瞬時に情報発信

**問** 4月から、本格的運用を開始している「防災行政無線」はこの2カ月でどんな反応なのか。

**答** 通常時では、午後5時に「家路」のメロディを流し、評判は良いという声を聞いている。

一方、子局に近い人からは「音量が大きい」という声もある。聞こえない人には戸別受信器の設置を進めている。

また、千早地区については、電波障害が発生し

ているために、アンテナ交換を7月に実施する。

その他、火災発生時における「火災現場について放送出来ないのか」などの問い合わせもある。

現行サイレンについては、平成28年度から消防無線のデジタル化が必要でそれまで現行サイレンを運用する。

今後、地震発生時はすぐに放送できるように瞬時に村民の皆様へ情報発信できるよう対応する。

問

## 役場庁舎について村長の考えは

答

## 行政機能を集約し、むらづくりの拠点としていく

**問** 松本村長は、昨年の村長公約として、「村の中心作り」と題し、バラバラの役所機能の集約を行い、ロスをなくすと共に村民の利便性を向上させることあるが、今後の考え方について伺う。

**答** 現在の役場庁舎は、昭和38年建築で51年目を迎えており、新耐震基準は満たしていない。

私の考えとして、行政機能を集約する目的は、一、住民サービス及び利

便性を図る。

二、大震災などに対する防災機能強化を図る。

三、村民との協働による村づくりの拠点として、整備を図る。

しかし、一方ではなぜ今、役場庁舎を整備するのかなどの声もあり、あり方については、結論が出ていない状況で、今後早急に議会のご意見をいただきながら方向性を示す。





山形研介議員

**問** 第4次総合計画における重点施策の推進は

**答** 「人口の維持」と「地域活性化」を最重点目標に進める



**問** 第4次総合計画が策定され重点施策の推進を今後どのように進めていく方針か。

**答** 第4次総合計画では、「人口の維持」と「地域の活性化」を最重点目標に掲げ3つの重点施策を展開していく。一つ目は、「次世代育成プロジェクト」、本村を担っていく子どもたちが元気に育つ環境整備をめざす。二つ目は、「住みたていむらプロジェクト」、人口減少に歯止めをかけ、誰もが住みたいと思える生活環境の形成をめざす。三つ目は「交流人

口の増加プロジェクト」、にぎわいと活力を創出するため、自然・歴史資源を観光資源として活用させ、本村の魅力を最大限に引き出す。これら三つの重点施策の考え方を基本にマニユフェストでもある山中八策の各施策を溶け込ませながら事業展開し、住みたいと言われる魅力ある村づくりをめざしたいと考えている。

**問** 村の今後のライフラインは

**答** 企業団水の給水により安定した供給を

**問** 大阪広域水道企業団水の利用拡大は

**答** 今年3月末に企業団からループ化についての基本ルートが示され、現在の受水地点の川野辺受水池から上東配水池へのルートと富田林市水を受水している。甘南備受水池から、小吹台低配水池を経由して、上東配水池へのループ化が示された。整備後は旧千早小学校区、小吹台・赤阪地区に自己水と企業団水の給水が可能となり安定した供給が図れると考えている。



**問** 基本柱③教育・歴史・伝統は **問** 大阪府教育委員会の改革は

**答** 郷土に愛着と誇りをもてる教育を

**答** 国の動向を踏まえ対応する

**問** 基本柱③教育、歴史、伝統は。

**答** 村づくりの基本は人づくりであり、平成25年度の村教育方針では、英語、道徳、村学習を教育三本柱に掲げ、「外国語活動」や「こころの教育」「郷土に愛着と誇りを持てる教育」など、幼・小・中の一貫した教育活動を充実させ、「生きる力」、「自ら学び考える力」の育成の推進に努める。

**問** 大阪府教育委員会の改革は。

**答** 国は、教育再生実行会議において、今後の地方教育行政のあり方について議論し、教育行政の責任者として教育長の権限強化、首長による教育長の任命、罷免に際して議会の同意を得ることとし、執行状況をチェックする機関とする等の提言がありました。今後、村の教育委員会においても、国の動向を踏まえ、対応していく。

# 議会活動日誌



## 5月

- 10日・議員懇談会
- 14日・村議選後初議会
- 16日・楠公史跡保存会史跡見学会
- 17日・南河内郡議長会総会
- 20日・ポンプ操法訓練開始式
- 21日・府町村議長会定例総会
- 22日・村慰霊祭
- 23日・人権協会常任委員会
- 27日・太子町議会議会運営研修
- ・会計監査
- 28日・全国町村議会議長・副議長研修会
- 30日・人権協会総会
- 31日・議会運営委員会



## 6月

- 1日・千早小吹台小学校運動会
- 5日・第2回定例議会（初日）
- 7日・総務民生常任委員会・府町村議長会監査・農業委員会
- 10日・文教建設常任委員会
- 11日・全員協議会
- 13日・議会改革推進委員会・幹事長会議
- 15日・広報編集委員会
- 18日・山ゆり作業所総会・第2回定例議会（最終日）
- 23日・楠公史跡保存会総会
- 26日・保健推進事業協議会
- 27日・会計監査

## 7月

- 1日・議会改革推進委員会
- 3日・広報編集委員会
- 5日・学校給食センター運営委員会
- 10日・広報編集委員会
- 25日・広域水道企業団議員全員協議会
- 26日・大阪府後期高齢者医療広域連合議会全員協議会



## 編集後記

▽ 今年の梅雨は、枯れ梅雨のよう  
うで、真夏は、節電や節水対策で  
てんやわんやではないかと思つて  
います。

▽ 夏と言えばプール。プールと  
言えば子どもや大人も好きなの  
の、子ども達は待つてましたとば  
かりにプールに飛び込み楽しく遊  
びます。

▽ 村議会も10名より7名に定  
数削減し、春の選挙では大激戦で  
した。新広報委員はよりよい「議  
会だより」にするために日夜奮闘  
しています。

今後とも、ご愛読のほど、よろ  
しくお願い申し上げます。

H・T

## 広報編集委員会

委員長	田中 博治
副委員長	徳丸 幸夫
委員	浅野 利夫
委員	山形 研介
オブザーバー	
議長	井上 昭司